

実践例の サンプル

言葉に気付き、言葉にこだわる力を付けるための板書計画！

〇〇市立〇〇小学校 教諭 〇〇 〇〇

本時の授業を構築する

板書のポイント

発問を考える
板書計画を立てる



予想される意見にはどのようなものがあるか

意見をどのように関連付けるか

どこで、どの児童の考えを生かすか。(指名するか)

どの言葉・文に気付かせるのか

挿し絵や図はどこに掲示するか

何色のチョークを使うか

実践例

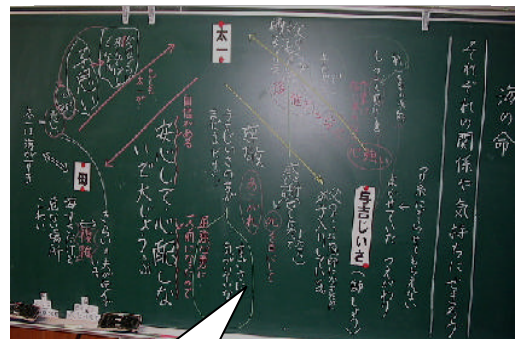
フラッシュカードの活用実践例

意見を関連付けた板書の実践例



低学年や習熟の程度に応じたグループ編成での基礎コースでは、挿し絵は効果的。

挿し絵は、あくまでも読みを助けるものとして活用することが大事。



児童の読みや課題を把握しておくことが大事。

そのために

- 〇 一人学びの時間
- 〇 振り返りの活用

コメント

- 〇 板書は発問と同じくらいに、思考を揺さぶるものであり大切にしたいと考えています。そのためには、児童の発言をただ順番に書いていくのではなく、こだわらせたい言葉や文に対して、児童の意見を関連付けたり対立させたりしながら整理をすることを大切にしています。板書は1時間の集大成だと考えます。
- 〇 板書計画を立てる際、児童の学びを把握していることが大切です。一人一人の読みや課題を把握していると、どの児童をどの場面で活躍させるかが見えてきます。